

SAIL 'O' 通信 NO. 73

大阪帆船と国際交流の会

Sail And International Link of Osaka

編集責任者 北村・辻村 2025年2月20日発行

会報目次

1. ボランティアレポート、他
 - ① 新しくなった天保山ターミナル
 - ② セレブリティミレニアム入港歓迎行事
 - ③ 大阪マラソン2024
 - ④ リニューアルオープンした天保山客船ターミナルとMSC ベリッシマ
2. 旅行記・イベント参加報告
 - ① 恒例のお花見
 - ② セイルボート『サザンクロス』奄美諸島・沖縄本島クルーズ
 - ③ 伊丹諸白下り酒プロジェクト
 - ④ なにわの海の交流会併設の忘年会
3. その他、連絡事項・情報
 - ① 令和5年度大阪帆船と国際交流の会総会報告
 - ② 令和6年度大阪帆船と国際交流の会総会のご案内
 - ③ 令和7年度役員募集

記事本文

1. ボランティアレポート、他
 - ① 新しくなった天保山ターミナル

大阪市港区、多くのクルーズ客船が発着する天保山客船ターミナルが新しく!! 2024年5月5日、開所式に出席してきました。4月開幕の2025大阪・関西万博をひかえた夢洲会場に最も近い大阪港。国際港に相応しい世界に誇る客船ターミナルになりました。私たちが活動するスペースもガラス張りで明るくとても広いです。(高見さん)

- ② セレブリティミレニアム入港歓迎行事

大阪港振興協会の依頼を受けて、2024年9月3日(火)、乗客、乗員に対して呈茶と着物の着付けの入港歓迎行事活動を行いました。指定された活動場所は、長年行っていたお弁当広場ではなく、5月に新築された天保山客船ターミナル1階のエントランスホールでした。エントランスホールは、乗客や乗員が通る場所で活動場所としては最適ですが、天井が高く、天幕や横断幕の設置に工夫が必要でした。事前にスタンションや突っ張り棒を購入して準備をしていましたが、組み立て作業に時間を要し、また呈茶のための毛氈を敷く長椅子が重く移動に苦労しました。しかし、活動場所の背後には広い収納庫があり、呈茶道具や着物をしまふケースを置くキャリアーも用意され、また、休憩するスペースもあり、便利になりました。

た。

活動の課題は、観光や買物から帰船したときに着付けを希望される方が多く、午後からは休憩する時間もなくなるほど忙しくなるということです。お知り合いの方で着付けをしてみようと思われる方がいらしたら見学でもかまいませんのでお誘いしてみてください。

2024年には、セレブリティミレニアムの他にセブンスーエクスプローラ、ノルウェイジャンスピリットなど8隻で歓迎行事を行い、チャリティは8万円を超えました。私達の活動が喜ばれていることと思います。着付け写真の背景の横断幕は麻田さんが製作されたものですが、長年使用して色褪せてきているので、そのレイアウトを引き継いで新たな横断幕の製作が進められています。

(中路さん)

③ 大阪マラソン2024

2023年9月、大阪マラソンボランティアセンターから『大阪マラソン2024(2月25日開催) 団体ボランティア募集』のメールが届きました。10月、会員の方々に参加者募集のお知らせをするとともに、とりあえず、15名の参加者を見込んで申込書をセンターに送付しました。12月、『リーダー説明会は1月14日、活動時間は8:00~13:00、活動場所は千代崎・みなと通ブロック、活動内容はコース沿道整理』との連絡があり、吉川さんと澤さんに説明会への出席、説明資料とウェア、キャップの受取をお願いしました。総会の際に、総会出席者に説明書とウェア、キャップを配付し、出席されなかった方には総会議事概要に同封して説明書を送付しました。

24年2月25日(日)08時15分大阪メトロ桜川駅2号出口付近の大阪シティ信用金庫前に集合しました。あいにくの雨。桜川駅2号出口は阪神電車にもあり迷われた参加者もありました。交通規制が開始される9時頃までに活動区域でのコーンやテープの設置を終え、13時、事故なく無事に終了しました。人の進入を防ぐためにはコーンのみでは不十分なためコーンにテープを巻きましたが、風が強い時にはコーンが倒れることがあり、コーンに重量を増す措置が必要であることを活動アンケートに記載してセンターに送信しました。『大阪マラソン2025』が2月24日(月・振替休日)に開催されます。都合のつく方は『府道173号・長堀鶴見緑地線ドーム前千代崎駅付近』までいらしてください。

(中路さん)

④ リニューアルオープンした天保山客船ターミナルとMSCベリッシマ

船界限ということで会報に投稿します。10月11日(金)ベリッシマ大阪港2回目の入港です。それにあわせてクルーズプラネット日本発着ツアーセンターがMSCクルーズの説明会を開催、参加しました。MSCベリッシマは何度見ても大きい。大阪港駅からもマンションかと思う迫力がある。説明会場は5月にリニューアルオープンした天保山客船ターミナル。1階の壁はサンゴ、床は砂浜をイメージした、海を感じさせるデザインが特徴。1階のロビーも帆船の帆を思わせる天井が目を引きまします。船からの乗り降りがスムーズな構造に配慮されています。ターミナル東側からは天保山の森や大橋を目の前に見ることができます。3階は海側に窓を大きく開いた造り。夕日の名所でもあり、夕景を眺めるのに最適な場所と言えます。Sail' oにとって天保山は活動の場、これからも訪れるのが楽しみになるでしょう。さて、私は人生の後半はクルーズを楽しむはずでした。しかしダイプリのコロナ感染があつて以降、そして私も昨年コロナ感染しましたので、すっかりトラウマになっています。MSCベリッシマ、MSCベリッシマと羨望の目で眺めながら今一步踏み出せないのです。でもいつか、きっと乗船する日が来ると、夢を叶えたいと。。

(篠原さん)

2. 旅行記・イベント参加報告

① 恒例のお花見

2024年4月6日(土)のお花見は、延べ55名のメンバーがいつもの場所に集結。関東方面からも駆けつけてくれ大変盛り上がりしました。17時から片付けです。当然ゴミはみんなが分担して持ち帰りました。このお花見も今年で30回。2025年は大阪・関西万博開幕をひかえ更に盛り上がります！
(高見さん)

② セイルボート『サザンクロス』奄美諸島・沖縄本島クルーズ

2024年の長距離航海は奄美諸島・沖縄諸島を計画しました。

4月17日(水)18時、乗員2名で母港徳島港を出港、途中、宮崎油津港と種ヶ島熊野漁港に寄港し、25日(木)12時名瀬港に入港しました。黒潮に乗ったホンダワラがプロペラにからまり取り除くのに夜昼問わず何度も潜りました。28日(日)06時、乗員3名で名瀬港を出港、同日15時、徳之島亀徳港(2泊)に入港しました。亀徳港は15年前の11月10日に徳之島沖で低気圧の大波により舵をもぎ取られ、海上保安庁の巡視艇に曳航されて深夜大雨の中、入港した思い出の港です。(森繁久彌逝去に並んでサザンクロス救助の記事が翌日の琉球新聞に載りました。)その時は応急舵取付のため観光どころではなかったので今回レンタカーで島内観光をしました。闘牛場、伊仙町歴史民俗資料館、泉重千代翁銅像、犬の門蓋、金見崎ソテツトンネル、ムシロ瀬、ホテルサンセットリゾート日帰り入浴、横綱朝潮大郎銅像などを巡りましたが、大田布岬の戦艦大和慰霊塔とその向こうに広がる東シナ海(写真)には感慨深いものがありました。30日(火)6時、亀徳港出港、同日12時沖永良部島和泊港入港(2泊)。レンタカーで島内巡り。国頭小学校内にある日本一のガジュマルの木(写真)、エラブリーの名で有名になった百合の花壇のある笠石海浜公園、和泊歴史民俗資料館、世の主の墓、フローラルホテル日帰り入浴。日本鍾乳洞9選の一つ昇竜洞は圧巻でした。5月2日(木)5時30分、和泊港出港、同日10時30分与論島茶花港入港(2泊)。自転車をレンタル。百合ヶ浜(写真)の日の出を見ようと与論島を横断しました。小さい島でかつ平坦と思っていましたが違っていました。周遊道路は平坦かと思いきやアップダウンがあり、きつかった。それでも、サンゴ礁に囲まれた憧れの島与論島、白い砂浜、澄んだ海はやはり美しい。1港1泊の航海が多いサザンクロスですが、久米島、慶良間諸島の寄港を断念して奄美三島をゆっくり巡りました。4日(土)3時、茶花港出港、同日16時沖縄糸満フィッシャリーナ入港(2泊)。糸満はジョン万次郎ゆかりの地。ジョン万次郎は江戸時代の1841年1月に高知沖で漂流、1951年1月に鎖国の日本に帰国。その帰国上陸地(写真)が現在の糸満市大度。上陸の地や投宿地に行きました。また、復旧中の首里城を訪れ、城内で復旧工事の進捗状況を見ると共に琉球宮廷音楽を聞く機会に恵まれました(エアコンで風邪を引きました)。6日(月)6時30分、乗員2名で糸満フィッシャリーナを出港。帰路、名瀬港、吐噶喇列島の諏訪之瀬島(写真)、臥蛇島(写真)、平戸港、宗像大島、瀬戸内諸港を経て5月26日(日)堺泉北港浜寺ボートに修理入港し、40日間の航海を無事終わりました。(ブログ『サザンクロスの夢航海』も見てみてください。)
(中路さん)

③ 伊丹諸白下り酒プロジェクト

・伊丹諸白下り酒～源流からたどる弁才船の航跡

(伊丹諸白 猪名川下り酒ウォーク2024)

セーリングヨット愛好家と日本酒を愛する市民ボランティア有志で企画。2025 大阪・

関西万博を盛り上げようと関西の海で活動するヨット仲間が集った「なにわの海の交流会」に 小西酒造さんからの協賛と下り酒を題材にした物語の書籍がきっかけで「源流からたどる」をキーワードに 江戸送りの酒を運ぶ。往時の追体験で清酒発祥の地伊丹からまちの賑わいを創造しました。

市民自由参加型のウォーキングは、伊丹諸白 猪名川下り酒ウォーク 2024 と銘打って開催。2024 年 10 月 20 日(日) 小西酒造(伊丹市東有岡)を 10 時出発したウォーキングは、駄六川河口から猪名川土手～尼崎戸ノ内までの約 8 km。菰樽を荷車に積み神埼/戸ノ内まで秋晴れのなか一般市民約 80 名が楽しく歩きました。

その後、小型船舶に積替え大阪北港マリーナへ、江戸送りの航海「伊丹諸白下り酒～源流からたどる弁才船の航跡～」です。

10 月 27 日(日)13 時 大阪北港マリーナを出港。史実から安治川河口を廻り太平洋へ紀伊半島を回り熊野灘、遠州灘を超え 11 月 3 日(日) 午後 12 時到着。約 120 名を超える来場者に迎えられ無事 東京夢の島マリーナに入港。酒問屋の守護神 新川大神宮への献酒を奉納。神職による祈祷を得た清酒で入港歓迎セレモニー、鏡開きと振る舞い酒で夜が更けるまで盛り上がりました。

荒波に揉まれて 旨い下り酒。皆さん、ご協力と応援ありがとうございました。

(高見さん)

④ なにわの海の交流会併設の忘年会

12 月 15 日 大阪湾の海で活動するセーリング仲間 67 名が大阪・関西万博を盛り上げようと なんばパークス 8 階に集結。夢洲会場内でパビリオンを展開する一般社団法人ゼリ・ジャパンから帆船 BLUEOCEAN みらいへの河本大樹船長も駆け付けてくれました。そして春開催の第 9 回メルボルン大阪ダブルハンドヨットレースは、南半球から赤道を超え万博会場の夢洲を目指す。大会の概要を紹介し協力と協賛を募った。また、2025 年 5 月 31 日開催予定のセーリング EXPO2025 の概要を紹介。いずれも市民ボランティアを募っている。詳しくは、大阪北港ヨットクラブ公式 HP【検索】

昨年 10 月末から 11 月に伊丹諸白下り酒プロジェクトが行われた源流からたどる弁才船の航跡は、大型スクリーンに映し出され VTR で紹介。ヨットで 清酒発祥の地 伊丹から菰樽の清酒を江戸(東京)へ 届ける。江戸時代の下り酒航海の追体験を報告。ワイワイがやがや楽しい交流会、お疲れ様でした。

会場協力：健康&スタジオレストラン ワクパク。協賛：小西酒造株式会社

(高見さん)

3. その他、連絡事項・情報

① 令和 5 年度大阪帆船と国際交流の会総会報告

2024 年 2 月 17 日(土)10 時、大阪ボランティア協会のセミナー室(1&2)で総会が開催されました。事業報告、会計報告、役員選任案、新年度事業案、新年度会計案の報告、提案がなされ、拍手で承認されました。役員は会計担当の岩村様、古江様が退任され、橋本様、秋田様が着任され、会計監査の大西様が退任され、古江様が着任され、大阪マラソン事業担当に澤様が着任されました。コロナの影響で事業が縮小されていたため見合わせていた会費の徴収を今年度から徴収することになりました。

② 令和6年度大阪帆船と国際交流の会総会のご案内

令和6年度総会の開催を下記のとおりご案内いたします。

●開催日時:2月15日(土)10時から12時まで

●開催場所:大阪ボランティア協会セミナー室

(大阪市中央区2丁目2-20大手前類第1ビル2階)

●出欠:同封の葉書にて出欠を2月8日(土)までにご返信ください。

③ 令和7年度役員募集

●令和6年度の役員は次のとおりです。

代表:中路、副代表:高見、事業担当:遠藤、谷口、田中(孝)、吉川、澤、中津留、土井、

広報担当:北村、辻村、藤本、井堀、会計担当:橋本、秋田、会計監査古江(敬称略)

●令和7年度役員の任期は令和7年4月1日から令和8年3月31まで

編集後記 :

今年は穏やかなスタートかと思えば、大雪にインフルエンザ大流行と大変です。皆様、お身体にはお気をつけください。(辻村)

サザンクロスの下り酒紀行、昨年から興味深く楽しく拝見させて頂いておりました。天候、健康面も含め世知辛い話題の多い中、この会に集う皆さんのパワーを感じて過ごしています。皆様、今年も一年ご安全に！(北村)